

各位



平成 29 年 12 月 8 日

会社名 株式会社テンポスホールディングス

代表者名 代表取締役社長 森下 篤史

(コード番号：2751 JASDAQ)

問合せ先 谷口 光児

TEL 03-3736-0319(代表)

連結子会社（キッチンテクノ株式会社）の業績に関するお知らせ

当社連結子会社のキッチンテクノ株式会社（代表取締役社長：平野忍 本社：東京都新宿区）は、本日付けで平成 30 年 3 月期第 2 四半期（上半期）の業績を下記の通りお知らせします。

平成 30 年 3 月期 第 2 四半期（上半期）の業績（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 30 年 3 月期 第 2 四半期 （上半期）	1,307	38	38	20
平成 29 年 3 月期 第 2 四半期 （上半期）	1,529	55	58	36
増減率	△14.5%	△30.9%	△34.5%	△44.4%

当第 2 四半期に（上半期）におきましては、前期のような大型物件が受注出来なかったため、売上高、営業利益ともに減収減益という結果となりました。

減収の要因としましては、主要顧客である大手外食チェーンが新規出店を抑制し、既存店の強化に力を入れたため、当社の厨房機器販売の受注件数が減少したことが挙げられます。但し、フードビジネスプロデューサー（FBP）として提案営業を積極的に行った結果、これまで参入できなかったスーパーマーケットから受注することが出来ました。さらに中古厨房機器の提案というこれまで前例のなかった提案が受注へと結びつき、大手スーパーマーケットなど新規営業開拓の成果を上げることができました。これら新しい試みにより、当社は同業他社間との「価格競争」から抜け出し、テンポスグループという強みを生かした「価値競争」で差別化を図り、収益を改善してまいります。

さらに、中堅外食企業に対し、椅子、テーブルなど店舗家具の提案から参入を図るなどした結果、新規登録顧客数は 288 件増加しました。差別化商品として圧力寸胴鍋、無煙ロースターを全国各地でデモンストレーションを行った結果、引き合いも増えているほか、積極的に輸入した海外製品をキッチンテクノブランドの注目商品として販売するなど、提案営業ができる体制を確立し、さらなる拡大を目指します。

以上